

事業年度末日：3月31日

定時株主総会：6月中

剰余金の配当の基準日：期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

株主名簿管理人：東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所：郵便番号 168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

郵便物送付先

電話ご照会先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

同取次所：中央三井信託銀行株式会社 全国各支店

日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

公告掲載新聞：日本経済新聞

当社は、日本経済新聞に掲載していました決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページに掲載しております。

(<http://www.alsok.co.jp/ir/kessan.html>)



IRに関するお問い合わせ

総合警備保障(株) 投資家情報部IR課

TEL：03-3423-2331

FAX：03-3470-1565

E-mail：alsok-ir@alsok.co.jp



総合警備保障株式会社

ALSOKホームページ <http://www.alsok.co.jp/>

## 第41期事業報告書

2005年4月1日～2006年3月31日

# ALSOK

## 総合警備保障



### 目次

- |                            |                              |
|----------------------------|------------------------------|
| 1：決算のご報告                   | 7：個別財務諸表                     |
| 2：株主の皆様へ                   | 8：株式の状況                      |
| 3：業務別の状況(売上高)              | 9：会社概要                       |
| 4：TOPICS                   | 10：「東京ガードセンター見学会と親子の防犯教室」ご案内 |
| 5：ガードセンター紹介<br>(東京ガードセンター) | 11：ALSOK NEWS                |
| 6：連結財務諸表                   | 12：株主メモ                      |

売上は、機械警備・常駐警備・警備輸送のすべての業務において、増収とすることができ、前期比3.8%の増加となりました。

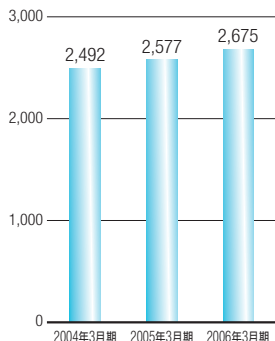
**売上高** 2,675億45百万円(前期比3.8%増加)

**営業利益** 122億46百万円(前期比11.7%増加)

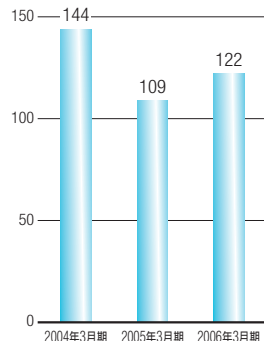
**経常利益** 131億02百万円(前期比13.0%増加)

**当期純利益** 55億50百万円(前期比12.1%増加)

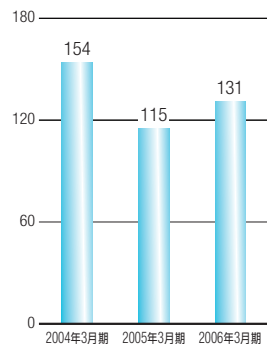
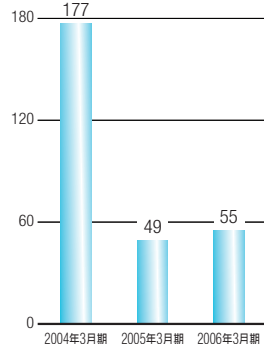
売上高(億円)



営業利益(億円)



経常利益(億円)

当期純利益<sup>注</sup>(億円)

注) 2004年3月期は厚生年金基金の代行部分を返上したことに伴い119,666百万円の特別利益を計上しております。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、2006年3月期の日本国内の社会環境は、刑法犯総数が、3年連続で減少するとともに検挙率も向上し、統計上の治安動向の改善が見られました。しかし、一方では、児童が被害者となる凶悪な事件が後を絶たないことなどから、国民の体感治安度は、改善しつつあるものの、安全への不安はまだ根強く残っています。

このような環境の中で、当社グループは、多様化するお客様のセキュリティニーズに应运えてきた結果、機械警備・常駐警備・警備輸送のすべての業務において、増収とすることができました。

法人市場において「ALSOKガードシステム」の受注は、堅調に推移しました。また、個人市場においては前々期に引き続き、「ALSOKホームセキュリティ7」の受注を拡大しました。さらに、幅広いニーズに対応した「ALSOKホームセキュリティX7」の販売を開始し、新たなユーザーの掘り起こしを行いました。

利益面につきましては、営業拠点の拡充、営業員や警備員の増加などの先行投資を行ってきたため、これまでは2期連続で減益となっておりますが、先行投資の効果が徐々に始まり、前期は増益とすることができました。

今期は、業績のV字回復を確実なものとするための重要な年でもあり、より一層、営業力の強化や合理化・効率化策を実施してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

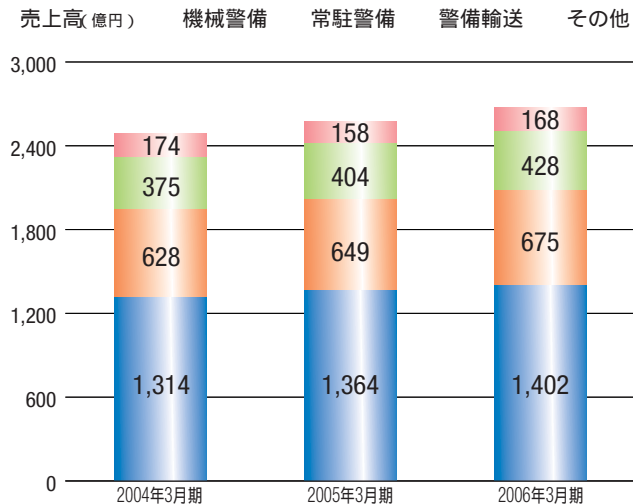
2006年6月

代表取締役社長

村井 温



☞ 「3 業務別の状況(売上高)」へ



### 機械警備業務

法人向けの新規契約が増加し、個人向けの、一昨年下期に発売した「ALSOKホームセキュリティ7」の契約が増加しました。さらに、個人情報保護法関連商品である、出入管理装置や防犯カメラの売却もあり、前期比+2.8%の1,402億円と38億円の増加となりました。

### 常駐警備業務

愛知万博やATM盗撮カメラ対応に伴う臨時警備、大型ショッピング施設等の大型物件の受注等により、前期比+4.0%の675億円と26億円の増加となりました。

### 警備輸送業務

入金機オンラインシステムとコンビニATMの受注台数の増加により、前期比+6.1%の428億円と24億円の増加となりました。

### その他の業務

大学の総合管理業務等の受注増加により、前期比+5.9%の168億円と10億円の増加となりました。

### 広報活動

#### 新バージョンの当社CM放映開始!

2006年4月より、リニューアルした当社CMを放映しております。前回のCMでは、当社柔道部の井上康生選手・塚田真希選手が川べりをランニングしておりましたが、今回は舞台を北海道・京都・鹿児島など日本全国に拡大し、バージョンアップいたしました。

全国各地に警備サービスを提供する当社の、「日本の家を守る。」という確固たる決意を表現しています。新たに当社レスリング部の吉田沙保里選手を起用し、おなじみの「1、2、3、4、アルソック」のフレーズは継続して使用しています。



### 社会貢献活動

#### 創立40周年記念 「ALSOKボランティア活動」

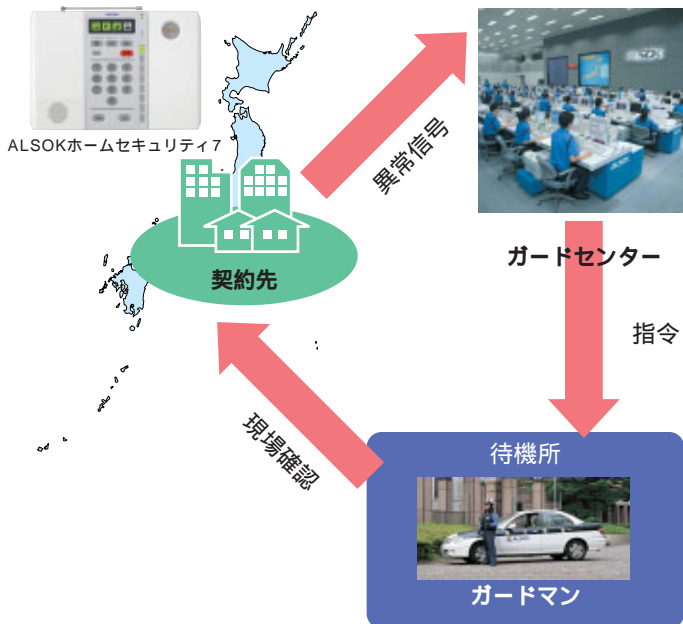
当社は、おかげさまで2006年3月期に創立40周年を迎えました。その記念行事の一環として全国で「ALSOKボランティア活動」を実施いたしました。各地の当社従業員の有志により、通学路や交差点での歩行者の安全な誘導を行いました。その他にも巡回パトロールや、教育機関への防犯指導・実地訓練などを行いました。地域の方々からは感謝の言葉をいただきました。



# 5 ガードセンター紹介(東京ガードセンター)

## 異常信号の発生からガードマン出動まで

ご契約先に不審者が侵入すると、設置された警報機器からの異常信号がガードセンターに送信されます。異常信号を受けたガードセンターの監視員は、待機所のガードマンに指令を出します。指令を受けたガードマンは速やかに現場確認へ急行します。ガードセンターの監視員は、ガードマンの行動管理を行い、必要に応じ警察・消防へ連絡をとります。



## 機械警備の中核といえるガードセンター

機械警備には、ご契約先に設置した警報機器とそれを監視するガードセンター、現場に駆けつけるガードマンの3つが不可欠です。なかでもご契約先とガードマンをつなぐガードセンターは、機械警備の中核ともいえます。このようなガードセンターは全国に存在しますが、最大規模と最新鋭の設備を誇り、東京都全域をカバーしている東京ガードセンターを次ページで紹介します。

## 首都東京の安全・安心を守るために

東京ガードセンターは、都内全域を約100名の監視員が昼夜交代で監視しています。監視員は、多くの電話連絡や異常信号に対して的確に指示し、ガードマンが迅速に対応できるよう、サポート体制を構築しています。

## システム整備で情報をしっかり把握

当センターの中央には2台の160インチの大画面モニターと文字放送システムを設置しています。これにより刻一刻と変化する気象情報や交通情報などを、監視員が常に正確につかむことができます。またご契約先データの集中管理システムは、ビルや住宅の平面図をデータとして登録しており、異常信号を受けた監視員はご契約先の間取りを把握した上で、的確な判断を下すのに役立っています。



## 災害に対する万全な危機管理

まず心臓部のホストコンピュータールームには大型地震にも耐えられる「免震床」を導入、二重構造の床全体がM7までの揺れを吸収します。さらに出入室に関しては、カード認識や指紋照合による厳重なチェック体制を取っています。また停電対策として、長時間の使用に耐えうる大型自家発電装置を設置。いつ発生するとも限らない災害に対する危機管理にも万全の体制を敷いています。

東京ガードセンター見学会開催

株主様向けに「東京ガードセンター見学会と親子の防犯教室」を開催します。詳細は「10『東京ガードセンター見学会と親子の防犯教室』ご案内」をご覧ください。

☞「6 連結財務諸表」へ

## 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

区分	第40期 2005/3/31	第41期 2006/3/31
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	90,186	85,856
受取手形及び売掛金	17,970	19,015
その他	42,744	42,936
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	59,194	59,508
無形固定資産	6,448	6,452
投資その他の資産	65,662	69,059
<b>資産合計</b>	<b>282,206</b>	<b>282,829</b>
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	8,969	8,693
短期借入金	47,075	43,350
1年以内償還予定の社債	100	500
その他	26,759	27,369
<b>固定負債</b>	<b>60,675</b>	<b>57,077</b>
<b>負債合計</b>	<b>143,579</b>	<b>136,990</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>15,458</b>	<b>16,645</b>
資本金	17,152	17,830
資本剰余金	31,600	31,811
利益剰余金	77,444	79,642
土地再評価差額金	5,585	4,976
その他有価証券評価差額金	2,583	4,911
自己株式	25	27
<b>資本合計</b>	<b>123,169</b>	<b>129,193</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>282,206</b>	<b>282,829</b>

## 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

区分	第40期 2004/4/1 - 2005/3/31	第41期 2005/4/1 - 2006/3/31
売上高	257,789	267,545
売上原価	192,405	199,144
売上総利益	65,383	68,400
販売費及び一般管理費	54,421	56,154
営業利益	10,962	12,246
営業外損益	629	856
経常利益	11,592	13,102
特別利益	700	353
特別損失	317	1,252
税金等調整前当期純利益	11,974	12,203
法人税、住民税及び事業税	3,129	4,291
法人税等調整額	2,648	1,275
少数株主利益	1,244	1,085
<b>当期純利益</b>	<b>4,951</b>	<b>5,550</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）（単位：百万円）

区分	第40期 2004/4/1 - 2005/3/31	第41期 2005/4/1 - 2006/3/31
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,820	29,106
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,161	14,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,531	8,351
現金及び現金同等物の 増加・減少( )額	1,450	5,857
現金及び現金同等物の期首残高	45,814	44,364
現金及び現金同等物の期末残高	44,364	50,221

## 個別貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

区分	第40期 2005/3/31	第41期 2006/3/31
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	59,057	51,999
売掛金	13,012	14,048
その他	38,087	39,411
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	34,747	34,255
無形固定資産	5,279	5,737
投資その他の資産	53,503	54,635
<b>資産合計</b>	<b>203,687</b>	<b>200,087</b>
<b>流動負債</b>		
買掛金	9,192	9,140
短期借入金	40,867	38,018
1年以内返済予定の長期借入金	4,041	2,976
その他	15,533	14,786
<b>固定負債</b>	<b>44,657</b>	<b>41,670</b>
<b>負債合計</b>	<b>114,291</b>	<b>106,593</b>
<b>資本金</b>	<b>17,152</b>	<b>17,830</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>28,807</b>	<b>29,017</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>46,701</b>	<b>47,223</b>
土地再評価差額金	5,585	4,976
その他有価証券評価差額金	2,324	4,403
自己株式	3	4
<b>資本合計</b>	<b>89,396</b>	<b>93,493</b>
<b>負債資本合計</b>	<b>203,687</b>	<b>200,087</b>

## 個別損益計算書（要約）

（単位：百万円）

区分	第40期 2004/4/1 - 2005/3/31	第41期 2005/4/1 - 2006/3/31
売上高	178,151	185,109
売上原価	136,443	142,221
売上総利益	41,707	42,888
販売費及び一般管理費	40,249	40,298
営業利益	1,458	2,589
営業外損益	3,696	3,042
経常利益	5,154	5,632
特別利益	700	353
特別損失	309	1,060
税引前当期純利益	5,544	4,924
法人税、住民税及び事業税	313	322
過年度法人税、住民税及び事業税	204	—
法人税等調整額	1,077	890
<b>当期純利益</b>	<b>3,949</b>	<b>3,712</b>
前期繰越利益	27,932	30,164
中間配当額	—	855
土地再評価差額金取崩額	—	609
<b>当期末処分利益</b>	<b>31,882</b>	<b>32,412</b>

## 利益処分計算書

（単位：百万円）

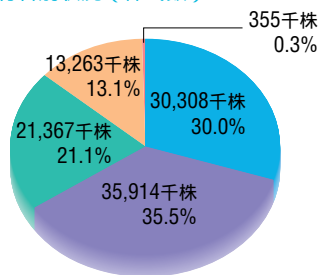
区分	前事業年度 (株主総会承認日 2005/6/29)	当事業年度 (株主総会承認日 2006/6/29)
当期末処分利益	31,882	32,412
任意積立金取崩額		
特別償却準備金取崩額	8	8
<b>合計</b>	<b>31,890</b>	<b>32,420</b>
<b>利益処分額</b>		
配当金	1,709	860
取締役賞与金	16	39
次期繰越利益	30,164	31,520

会社が発行する株式の総数	300,000,000株
発行済株式の総数	101,209,642株
株主数	10,195名
大株主	

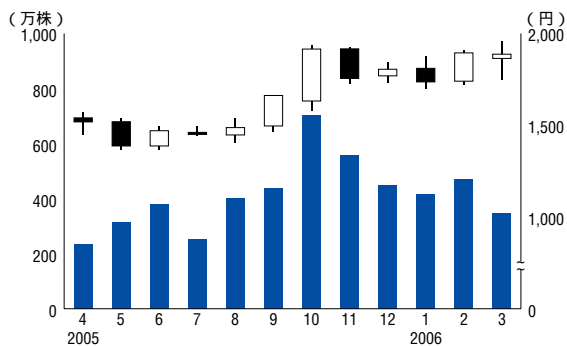
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
村井恒夫	9,067,923	8.95
総合商事(株)	7,388,680	7.30
総合警備保障従業員持株会	6,059,030	5.98
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	5,417,300	5.35
埼玉機器(株)	5,283,980	5.22
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口	4,261,400	4.21
東京海上日動火災保険(株)	3,420,313	3.37
ザチースマンハッタンバンクエヌエイロンドン	3,341,261	3.30
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	3,312,600	3.27
村井 温	2,948,674	2.91

みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口の所有株式は、株式会社みずほ銀行が退職給付信託として提出したものであります。なお、当社は株式会社みずほ銀行の持株会社である、株式会社みずほフィナンシャルグループの株式1,180株(出資比率0.0%)、優先株式2,000株(出資比率0.0%)を保有しております。

## 所有者別状況(株式数)



## 株価チャート・出来高推移



社名：総合警備保障株式会社  
(SOHGO SECURITY SERVICES CO., LTD.)  
本社：東京都港区元赤坂1-6-6  
設立：1965年7月16日  
資本金：17,830百万円(2006年3月31日現在)  
代表者：代表取締役社長 村井 温(むらい あつし)  
事業所：本社・5事業本部・58支社・44支店・225営業所  
(2006年6月1日現在)

## 取締役および監査役(2006年6月29日現在)

取締役会長：村井 恒夫  
代表取締役社長：村井 温  
代表取締役：益田 兼弘  
代表取締役：田村 彰  
取締役：橋尾 志良  
取締役：市川 顕  
取締役：菅野 明  
常勤監査役：染谷 卓美  
常勤監査役：大泉 和正  
常勤監査役：伊藤 治俊  
監査役：陰山 照男

## 執行役員(2006年6月29日現在)

社長：村井 温  
上席常務執行役員：益田 兼弘  
上席常務執行役員：田村 彰  
常務執行役員：松本 智  
常務執行役員：大西 明  
常務執行役員：大野 宏  
常務執行役員：橋尾 志良  
常務執行役員：澤村 章三  
常務執行役員：萩原 宏樹  
常務執行役員：佐藤 紘  
常務執行役員：市川 顕

執行役員：森本 榮一  
執行役員：山田 啓  
執行役員：谷 藤平  
執行役員：松本 誠一  
執行役員：中島 英夫  
執行役員：佐藤 訓行  
執行役員：矢村 敏夫

2006年8月26日(土)、株主様ならびにご同僚の小学生を対象に「東京ガードセンター見学会と親子の防犯教室」を開催いたします。「5 ガードセンター紹介(東京ガードセンター)」で採り上げた東京ガードセンターを見学した後、守りのプロである当社社員と一緒に、子供たちに普段の生活に潜んでいる危険に気づかせ、安心して暮らせるためのアドバイスをを行います。

本企画を通じて多くの方に、ALSOKをより深く知っていただきたく、たくさんのご応募をお待ちしております。



開催日時：2006年8月26日(土)  
Aコース【小学校低学年(小学1～3年生)対象】  
...10時～11時30分  
Bコース【小学校高学年(小学4～6年生)対象】  
...13時30分～15時

開催場所：東京ガードセンター(東京都杉並区高円寺南 最寄駅：東京メトロ丸ノ内線新高円寺駅徒歩3分)

募集人数：Aコース・Bコースとも各14組28名様

参加費：無料(現地までの往復交通費は自己負担となります)

参加資格：小学生(お子様、お孫様)を同伴できる2006年3月31日現在の株主様  
(兄弟での参加は可能ですが、対象学年の範囲内とさせていただきます。)

応募方法：同封のアンケートはがきに 株主様のご住所・お名前・電話番号 同伴される小学生のお子様の学年 ご希望のコース名(AコースまたはBコース)を明記の上、ご郵送ください。2006年7月20日の消印まで有効です。

当選者へのご案内：2006年7月31日発送予定

#### 注意事項：

- ・応募者多数の場合には抽選となります。  
(応募状況により参加できないこともありますのでご了承ください)
- ・当選者の発表は、当選者への郵送によるご案内をもってかえさせていただきます。
- ・お問い合わせ先...総合警備保障(株) 投資家情報部  
TEL 03-3423-2331 / FAX 03-3470-1565 E-mail alsok-ir@alsok.co.jp

## スポーツ

### 神野由佳選手がショートトラックでトリノオリンピック出場

トリノオリンピックのスピードスケート・ショートトラックで当社社員の神野由佳(かみのゆか)選手が、500m、1000m、1500m、3000mリレーの全種目に代表として出場いたしました。

残念ながら大会ではメダル獲得には至りませんでしたでしたが、世界の強豪を相手に精一杯の力で互角に戦い、素晴らしい滑りを見せてくれました。この健闘の結果、1500mで7位入賞、3000mリレーでは7位となりました。



JOC / JSF-003

### 塚田真希選手が、全日本女子柔道選抜体重別選手権大会4連覇、皇后杯全日本女子柔道選手権大会5連覇を達成

2006年4月9日(日)、横浜文化体育館において行われた各階級のトップ8名で争われる第29回全日本女子柔道選抜体重別選手権大会で、当社社員でアテネオリンピック78kg超級金メダリスト塚田真希選手が出場し、4連覇を達成しました。また、同年4月23日に東京武道館にて行われた第19回皇后杯全日本女子柔道選手権大会(無差別)にも出場し、これまでの大会以上の気迫と技で、並み居る強豪選手を倒して勝ち進み、決勝では見事な体落としで一歩勝ち、大会5連覇を達成しました。



JOC / AJJF-007